



JACET通信

一般社団法人大学英語教育学会

December 2024 The Japan Association of College English Teachers No.221

目次

巻頭言（小田眞幸）	1 頁	本部だより（馬場千秋）	4 頁
第 63 回国際大会報告（鎌倉義士）	3 頁	支部だより	17 頁
JACET 褒章報告（馬場千秋）	4 頁		

[巻頭言]

共同体としての JACET

一般社団法人大学英語教育学会会長 小田 眞幸
玉川大学

8月に行われた第63回大学英語教育学会国際大会（名古屋）は台風10号の接近により、当初の予定を大幅に短縮し、1日半のみの開催になりました。まず台風の進路、速度がぎりぎりまで定まらない中、会場でご参加いただいた皆様にはここで御礼を申し上げたいと思います。毎年国際大会は1年以上前から準備を開始します。担当である第1号事業委員会（国際大会担当）を中心に、開催校の愛知大学の皆様、そして地

元の中部支部をはじめ、コロナ明けより新たに採用したブロック制により関西支部、中国・四国支部、九州・沖縄支部の皆さんにも準備段階から多大なご協力をいただきました。そして大会まで一週間となった8月下旬、「台風10号の接近があるかもしれない」というニュースが入りました。大会の会場設営等は主として中部支部の委員の皆さん、そして名古屋地区の4大学の学生さんたちが行い、全国に散らばっている委員の

多くは前日に名古屋入りをしました。この段階では大会初日の午前中に台風が名古屋を直撃するという予報が出ていたこともあり、当日の天候、交通機関の情報を考慮した結果、当初の開会予定時間までに委員および学生が安全に到着することが難しいことから午前中のプログラムと開会式を行わないことを決定させていただきました。またこの段階で、大会参加を断念される方への対処、さらにプログラムの変更等を、現地にいる全国各地の委員の皆さんを総動員してお手伝いいただきました。

皆さんのご協力のおかげで、第1日目の午後よりプログラムを動かすことが出来、Heath Rose先生、Joo-Kyung Park先生の基調講演は実施できましたが、第2日目の朝の段階で九州への台風接近による同日午後の交通機関への影響、さらに翌日の東海道新幹線の計画運休が発表されたため、お昼の段階で第3日目のプログラムを全て中止するという苦渋の判断をさせていただきました。多くの参加者は無事帰路につかれたようですが、大雨のため東京方面の新幹線が途中で運休し、特に最後まで残っていた関東地区の委員の皆さんの多くが、長野経由で東京方面に向かったり、名古屋に延泊することになったとも聞いております。また会場の後片づけについては中部支部の皆さんと学生さんにお任せしてしまう結果になってしまいました。

JACETの歴史上、大会が途中で中止になったのは初めてであると思いますが会員の皆さんのご協力のおかげで可能な限りのことは出来たのではないかと思います。

さて大会に先立つ理事会で「JACETアンチハラスメント・ポリシー」の制定が承認されました。これは、本学会に関わる人たちは、お互いが安心して研究活動や学会活動に参加し、従事できる環境を作ることを目的に制定したもので、まずは会員をはじめ本学会に関わる全ての人々にハラスメントに該当する行為が何かということについて認識していただくとともに、JACETとして「ハラスメントを容認しない」という態

度を内外に示すことからはじめ、今後会員の皆様また必要に応じて他学会や外部の専門家の意見を聞きながら具体的な運用を1つ1つ決めて行きたいと思えます。JACETは会員の皆さんのご協力で成り立っております。引き続きよろしくお願いたします。

第 63 回国際大会報告
開催校担当
鎌倉義士 (愛知大学)

去る第 63 回国際大会では、台風 10 号の接近による不確定な学会進行の中にも関わらず、多くの会員様にご来場頂き感謝申し上げます。参加者の中には新幹線の運行停止のため名古屋での延泊や帰路の変更を余儀なくされた方もいらっしゃったと伺っております。そのご苦勞に申し訳なく思います。改めまして、今大会へのご参加ありがとうございます。

本稿では、第 63 回国際大会が愛知大学に決定するまでの経緯と大会までの準備、そして会場校がある中部支部での業務内容を記し、今後の国際大会運営への示唆と提言をお伝えしたいと思います。

今大会の大きな特徴は、初となるブロック制での国際大会の開催でした。会員や参加者の皆さまからは大会の様子から窺い知ることが難しいかもしれませんが、大会準備から運営に至るまで第 63 回大会は西日本ブロックに属する中部支部・関西支部・中国四国支部の共同運営で行いました。

第 63 回国際大会の会場が検討された時には別支部での開催が検討されていました。しかし、そちらがどうしても都合がつかないという情報を聞き、愛知大学での開催を私が提案しました。本学ならば新幹線ターミナル駅からのアクセスの良さと教室や情報設備の充実ぶりから、十分に国際大会の会場として機能すると常に自信を持っておりました。今大会では参加者の皆さまにその充実ぶりを確認して頂くまでもなく終わり、少し残念でもあります。

ブロック制度での開催は一つの支部だけに負担がかからない点では良いのですが、なにぶん初めての開催ということもあり、これまでの大会開催準備と運営の仕事をどのように各支部に配分するのが問題となります。今回からの新たな学会運営は事業部制に基づき進められました。第 1 号事業委員会国際大会運営

委員長である吉原学先生が前大会での経験を活かして、効率よくそして我慢強く国際大会準備を進めてくれました。第 1 号事業筆頭理事であり中部支部会員である佐藤雄大副会長と会議内外で連絡と援助を頂き、感謝しております。第 1 号事業委員会と開催校との綿密な連携が重要です。これまでの経験が蓄積され、今後の大会運営の改善に活かされるはずで

す。開催校のある中部支部では、会場・受付・アルバイト・飲食・懇親会を担当しました。その中で受付・アルバイト・飲食の業務では全体会の資料がとても役立ちました。国際大会運営委員会では共有クラウドによって前年度の資料を参照できるので、その数字を基に準備や発注することが可能でした。台風による中止で予定数より飲食の品が余ってしまったのは致し方ないことでした。

会場の準備には、国際大会開始前に開催した中部支部英語セミナーの愛知大学での実施が参考になりました。参加者数は国際大会ほどではないのですが、賛助会員や協賛企業の運搬について試すことができ、その搬入搬出方法で国際大会での数多くの企業に対応できたことがよかったです。

今大会ではコロナ後に初となる懇親会を予定していたのですが、台風接近により残念ながら中止となりました。懇親会では皆さまを歓迎する余興を予定していたのですが、愛知大学のコンプライアンスにより飲酒の場に学生が出席することができず、学生に演舞や演奏を依頼することができませんでした。今後は学内コンプライアンスを意識しての企画の計画が必要となるでしょう。

私は学会の派遣で 9 月に提携学会 MELTA (Malaysian English Language Teaching Association) の学会に参加しました。その学会は活気溢れており、休憩の度に軽食が提供されました。JACET は限られた予算の中、懸命に国際大会を開催しております。来年度の国際大会は今以上に活気ある大会となることを願っております。

JACET 褒章報告
第3号事業委員会担当理事
馬場千秋（帝京科学大学）

2024年度のJACET褒賞は、厳正なる審査の結果、次のように受賞者が決定いたしました。第63回国際大会（2024、名古屋）の会期中に、授賞式を執り行う予定でしたが、台風の影響により、授賞式中止したため、受賞者には会期中に小田会長より賞状をお渡しいたしました。受賞者と対象業績は下記のとおりです。受賞された方には心よりお喜び申し上げます。

大学英語教育学会褒賞 最優秀賞

対象業績：『英文法の教え方 英語教育と理論言語学の橋渡し』（東京：開拓社、2023）

受賞者：川原 功司（名古屋外国語大学）

本部だより
代表幹事 馬場千秋（帝京科学大学）

いつもJACETの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本部からは、ご質問受付期間を9月24日（火）～9月30日（月）に設けさせていただく形で開催いたしました会員総会の報告、および2023年度の事業報告書、収支計算書、財産目録、監事監査報告書をお届けいたします。

**<2024年度 一般社団法人大学英語教育学会
会員総会報告>**

今年度は、第63回国際大会時に会員総会を開催予定でしたが、台風の影響により、法人事業委員会および国際大会前日に実施した2024年度第3回理事会において、会員総会の実施方法を検討いたしました結果、メーリングリスト、ウェブサイト、フォーム入力を利用した会員総会とさせていただきます。

対面での会員総会時に行っておりました情報提供、質問受付、質問に対する回答をウェブでの資料提示、フォームでの質問受付、メールでの回答という形で実施いたしました。

1. 会員総会告示

9月20日（金）に全会員宛のメーリングリストにて、会員総会開催の予告を行い、ご質問受付期間初日の9月24日（火）に手順をご連絡いたしました。

2. 資料提示

以下の内容をそれぞれのリンク先にて提示いたしました。

1) 役員一覧

2) 人事表

https://www.jaceted.org/about_jaceted/executives/

3) 2023 年度事業報告

4) 2023 年度財務諸表

5) 2024 年度事業計画

6) 2024 年度予算書

https://www.jaceted.org/about_jaceted/annual-plan/

7) 定款

8) 大学英語教育学会褒賞規程

9) 学会運営規程

https://www.jaceted.org/about_jaceted/agreement/

3. アンチハラスメント・ポリシーの制定

このたび、JACET では、アンチハラスメント・ポリシーを制定し、2024 年度第3回理事会で検討の結果、承認されました。なお、対象は、本会員総会以降の事例とさせていただきます。詳細は次の通りです。

JACET におけるアンチハラスメント・ポリシーの制定について

本ガイドラインは、日本心理学会の「ハラスメント防止に関するガイドライン」、および比較法学会の「比較法学会アンチハラスメント・ポリシー」を参考にし作成されました。両学会のガイドラインの策定に携わった方々をはじめ、学術活動におけるハラスメント防止に取り組んでいる方々に、心からの謝意を表します。

2024 年 8 月 27 日

一般社団法人大学英語教育学会 理事会

JACET におけるアンチハラスメント・ポリシー

1. 目的

一般社団法人 大学英語教育学会（以下「本学会」といいます。）は、本学会の活動に関連するあらゆる形態のハラスメントを防止することを目的として、本アンチハラスメント・ポリシー（以下「本ポリシー」といいます。）を定めます。

2. 基本方針

(1)本学会は、本学会に関わるすべての人の人権および尊厳を守り、それらの人が安全かつ安心して自由に本学会の活動に参加または関与することができる環境の整備を行います。

(2)本学会に関わる人たちは、お互いが安心して研究活動や学会活動に参加し、従事できる環境を作ること、また、ハラスメントを受けた人に対して支援を行うことに努めます。

3. 定義

(1)本ポリシーにおける「ハラスメント」とは、本学会の活動に関連して、一方の当事者が他方の当事者の属性もしくは人格または両当事者間の関係に関して、不適切な発言、行動等の行為を行い、これにより他方の当事者に身体的、精神的、社会的苦痛や傷害、不利益、損害を与え、または、その基本的人権、尊厳もしくは人格を侵害することを指します。

(2)本学会の「活動」には、一号および五号事業に関する活動（国際大会、支部大会、その他学術研究における活動）、総会（社員総会および会員総会）における活動、理事会およびその他学会の会議における活動、事務局における活動、理事や監事、支部役員、会員としての活動（委員としての活動、事務局への問い合わせや手続きに関わる活動を含みます。）、SIG 等の学術研究に関する活動が含まれ、かつ、これらに限定されません。

(3)本ポリシーの「当事者」には、本学会の会員に限らず、本学会の活動に関連して、不適切な行為を行った全ての人や組織が含まれます。たとえば、(ア) 本学会の活動中に、他の会員や事務局に対して不適切な行為を行った会員

(イ) 本学会の活動中に、会員ではない人や本学会以外の組織に対して不適切な行為を行った会員

(ウ) 本学会の活動中の会員や事務局に対して不適切な行為を行った会員ではない人または本学会以外の組織が含まれます。

(4) 本ポリシーでの、「属性もしくは人格」には次のものが含まれ、かつ、これらに限定されません。

(ア) 出身地、国籍、民族、人種

(イ) 性別、性的指向

(ウ) 身体的状況、身体的特性

(エ) 家族関係

(オ) 年齢

(カ) 信条、学術上の見解 (形成途上のものを含みます。)

(キ) 研究者としての地位 (学生としての地位を含みません。)、能力

(ク) 職業

(ケ) その他社会的身分、役割

(5) 本ポリシーでの、「不適切な発言、行動等の行為」は、対面での発言や威迫等に限りません。電話、手紙、電子メール、SNS での表現等の一切の行為が含まれます。

(6) 本ポリシーでの「不利益もしくは損害」には、正当な理由なく、研究者たる当事者の研究が阻害されたこと (研究や業務の機会、研究内容や研究方法の自由、研究成果に対する正当な評価を受ける機会等が制限されたり、失われたりすることを含みます。) が含まれ、かつ、これらに限定されません。

(7) 問題とされた行為がハラスメントであるか否かを判断する際には、受け手がどのように感じたかが重要になります。意図的に行った場合だけでなく、意図せずに行った言動、善意や好意のもとに行われた言動が結果的に相手を傷つけてしまった場合もハラスメントとなることがあります。また、問題とされる言動を加害者の指示に従って加担したりする場合や、それらの言動がされるのを傍観した場合もハラスメント

になることがあります。

4. 区分

本ポリシーでのハラスメントには、以下の区分が含まれます。これらの区分に該当しないハラスメントも、3 条に該当するものはすべてハラスメントとなります。

(1) セクシュアル・ハラスメント

セクシュアル・ハラスメントとは、相手方の意に反する性的な発言や行為、性別や性的指向、性同一性等に関する発言や行為によって生じるハラスメントを指します。また、妊娠、出産、育児を対象とした不適切な発言や行為等も含まれます。

(2) アカデミック・ハラスメント

アカデミック・ハラスメントとは、研究、教育上の力関係を濫用し、不適切な発言や行為によって生じるハラスメントを指します。また、特定の学術的見解や誤解、無知に対する過剰な指摘、批難等も含まれます。

(3) パワー・ハラスメント

パワー・ハラスメントとは、職務上の優越的な地位や権限、または人間関係や能力などの優位性を利用して行なわれた発言や行為によって生じるハラスメントを指します。また、本学会や事務局に対する過剰な要求や謝罪の強要等も含まれます。

5. 活動

(1) 本学会は、ハラスメントの発生を予防するために、ハラスメント防止の啓発活動に努めます。

(2) 本学会は、ハラスメントの当事者となったと考えられる人に対する相談活動やハラスメントが生じている可能性があると思われる場合の解決支援、ハラスメントを受けた人が安全かつ安心して本学会活動に参加できる環境の整備を行います。

連絡先: anti-harassment@jacet.org

連絡者 (申立人) の身元は、適切な対策チームが組織されるまでは、担当者以外には明かされません。対策チームの構成員は、原則として理事、監事の中から、

連絡者に不利益がないよう慎重に選出いたします。

受付担当者：

法人事業委員会担当理事 馬場 千秋・金丸 敏幸

4. 質問受付

Google Forms で質問を受け付けました。

質問受付期間：9月24日（火）～9月30日（月）

5. 質問への回答

質問受付期間終了後にフォームにご入力いただいたメールアドレス宛に回答し、質問と回答内容は原則としてウェブ上で公開することといたしました。

6. 会員総会報告

質問は1件、アンチハラスメント・ポリシーに関するものがございました。

Q: アンチハラスメント・ポリシーに関して、学会として申し立てがあった場合に何らかの裁定をするつもりなのでしょうか？

その場合、申し立て側だけでなく、申し立てられた側の権利も十分守られるよう、法的にも裏付けのある十分なプロトコルが必要ですが、一学会でそこまで対応できますでしょうか？ また、安易に「受け手がどのように感じたかが重要に」なるのであれば、意図的に誰かをハラスメント者として陥れることも可能になります。こうしたポリシーは一義的には会員に影響が及ぼされるもので、なぜこういうものが必要だと判断したのか、実際に何か起こった場合にどうするつもりなのかを示さずに、ポリシーだけを通すのは賛成しかねます。

A: アンチハラスメント・ポリシーは、JACET の活動に関わる方が安全かつ安心して自由に活動できる

ため、あらゆる形のハラスメントを許さないということ、暗黙の了解としたままでなく、文章として明言することが必要であるという判断で、この度制定することになりました。このような表明は、JACETに限らず、すでにいくつかの学術団体でも行われています。

本ポリシーの制定は、何か特別なきっかけがあったわけではなく、あらためて会員および関係者のみなさまに、日ごろから意識していただくことをお願いするためのものです。学会として何かの法的な意味での裁定をすることはありませんが、学会内で事案が発生した際、学術活動の機会が一方的に失われることのないように、適切な対応を検討する対策チームを組織して、対応を図っていくことを主な目的としております。

今後、細則等も含め、理事会として検討をしてまいります。

以上、ご報告いたします。

<2023（令和5）年度事業状況報告書>

定款第5条第1項の(1)から(6)に掲げる令和5（2023）年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

記

第1号事業報告：大会セミナー等事業

(1) 国際大会・セミナーの開催

① JACET 第62回国際大会（東京、2023）の開催

大会テーマを「言語教育における連携の再構築と発展」とし、2023年8月29日（火）～31日（木）に明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモンで開催した。Anne Burns 先生(The University of New South Wales / Curtin University)、Supong Tangkiengsirisin 先生(Thammasat University)の基調講演、小田眞幸先生(玉川大学・本学会会長)に

よる会長講演が行われた。また、本部企画の全体シンポジウム、4件の賛助会員特別発表、11件の賛助会員特別シンポジウムを開催した。また、9つの海外提携学会からの代表による講演が行われた。参加者は716名であった。

② JACET 第50回サマーセミナー（東京、2023）の開催

2023年8月26日（土）・27日（日）に明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモンで開催した。“Revisiting our Teaching Practices through Reflection and Action Research”というテーマのもと、著名な講師を招き、当該分野における最新の研究成果を紹介した。Anne Burns 先生 (University of New South Wales / Curtin University)、Supong Tangkiengsirisin 先生(Thammasat University)、玉井 健先生 (高知リハビリテーション大学) を講師として迎え、各講師からの基調講演、ワークショップが行われた。10件のポスターセッションが行われ、4社の賛助会員からの展示があった。参加者は55名であった。

③ JACET 第11回英語教育セミナー（埼玉、2023）の開催

2024年3月23日（日）に文教大学越谷キャンパスで開催した。「新学習指導要領が目指す英語教育：大学では何ができるか」をテーマとして基調講演者として卯城祐司先生（筑波大学）、津久井貴之先生（群馬大学）をお招きした。ポスター発表は7件、賛助会員展示は10社からの御参加があった。賛助会員展示を会場内で行い、参加者にも賛助会員にも大変好評であった。参加者は84名であった。

④ 大学英語教育学会(JACET) 第6回 JAAL in JACET（日本応用言語学会）学術交流集会（東京、2023）の開催

2023年12月2日（土）にお茶の水女子大学にて開催した。講演者として Tom Gally 先生（東京大学名誉教授）をお招きした。一般公募による研究発表27件、SIGポスター発表7件、賛助会員と一般会員の情報交換会が行われた。発表者は『Proceedings Vol. 6』（オンライン）に投稿してその成果を公開する機会を与えられた。また、この研究集会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動に大きな道標となると同時に、広く普及させることで、会員をはじめ応用言語学研究者がより専門性の高い教育研究を行う成果が期待されている。

(2) 支部大会の開催

以下の各支部において支部大会が開催された。大会内容については、各支部ニューズレターで報告された。

- ・北海道支部大会 2023年6月24日（藤女子大学）
- ・東北支部大会 2023年6月17日（TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口）
- ・関東支部大会 2023年7月8日（青山学院大学青山キャンパスと Zoom のハイブリッド開催）
- ・中部支部大会 2023年6月10日（オンライン開催）
- ・関西支部大会 2024年3月9日（関西学院大学上ヶ原キャンパス）
- ・中国・四国支部大会 2023年6月3日（安田女子大学）

2023年10月21日（松山大学）

- ・九州・沖縄支部大会 2023年10月14日（大分大学 旦野原キャンパス）

(3) 支部講演会の開催

以下の各支部において講演会が開催された。

- ・関東支部講演会 2023年6月10日、10月14日、12月16日（ともにオンライン開催）
- ・関西支部講演会 2023年6月17日、10月21日、

1月20日

(ともにオンライン開催)

・九州・沖縄支部講演会 2023年7月8日(西南学院大学)

(4) 支部研究会等の開催

以下の各支部において研究会等が開催された。

・北海道支部研究会2023年11月11日(小樽商科大学)

2023年3月9日(札幌市生涯学習センターちえりあ)

・東北支部例会 2023年11月19日(TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口)

・関東支部企画 2023年11月4日
(青山学院大学青山キャンパスと Zoom のハイブリッド開催)

・中部支部研究会・講演会 2023年12月3日(南山大学と Microsoft Teams による同時配信)

・中部支部研究会 2024年3月2日(名古屋市立大学と Zoom のハイブリッド開催)

・中国・四国地区大学間連携イベント
2023年12月~2024年1月(メール審議・オンライン会議)

第2号事業報告：出版物刊行事業

(1) 『紀要』の刊行

2024年2月29日に『JACET Journal』68号が刊行された。会員より応募された論文、リサーチ・ノート、及びブックレビューの3つの分野における論文を厳正に審査し、招待論文1本、会員からの一般論文7本が掲載された。会員及び英語教育関係機関(国立国会図書館、大学基準協会、コンピュータ利用協議会、全国語学教育学会、海外提携学会等)へ送付し、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

(2) 『Selected Papers』の発行

2024年3月に『JACET International Convention

Selected Papers』10号が刊行された。JACET 第62回国際大会(東京、2023)で口頭発表(一般ポスター発表も含む)した発表者の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えるため、また海外の学会や英語教育関係者に日本の研究をリアルタイムで発信するため、電子ジャーナル(オンライン)として発行した。招待論文3本、一般応募論文5本が掲載された。

(3) 『JAAL in JACET Proceedings』の刊行

2024年3月31日に『JAAL in JACET Proceedings』6号が電子ジャーナルとして刊行された。「第6回 JAAL in JACET(日本応用言語学会)学術交流集会(東京、2023)」で口頭発表(ポスターも含む)した発表者の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えたものである。JAAL in JACET Proceedings への掲載は、学術交流集会発表者にとってより大きな業績となるだけでなく、研究者同士の情報交換や議論の場として更なる研究の活性化を促進した。また、海外に対し、日本の英語教育研究に関する最新事情を発信した。

(4) 支部紀要の発行

各支部で紀要を発行し、会員及び英語教育関係者等に送付(または公開)した。支部紀要は、支部会員の学術研究を奨励して論文発表の機会を与えるとともに、支部会員に研究・教育実践を学び合う機会を与え、支部全体を活性化した。

・『北海道支部紀要』20号(PDF) 2024年3月30日

・『TOHOKU TEFL』12号(PDF) 2024年3月31日

・『JACET 関東支部紀要』11号(PDF) 2024年3月31日

・『中部支部紀要』21号(冊子) 2024年12月25日

・『JACET Kansai Journal』26号(冊子) 2024年3月31日

・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』21号(冊子) 2024年3月31日

・『Annual Review of English Learning and Teaching』28号(冊子) 2023年11月30日

第3号事業報告：表彰事業

(1) 大学英語教育学会賞の表彰

第62回国際大会(東京、2023)において授賞式を行った。受賞者に対して賞状と記念品を贈呈した。受賞者は以下のとおりである。

2023年度大学英語教育学会褒賞受賞者

大学英語教育学会褒賞 新人賞

受賞者：山崎 ジョセフ(フロリダ州立大学 大学院生)

“Life-Long Motivational Trajectories of Japanese Learners of English From a Qualitative Perspective”
(JACET Journal No. 67 (2023) pp.107-126)

学会最優秀賞、学会優秀賞に関しては、2023年度は該当者がなかった。

第4号事業報告：協力事業

(1) 関係学術団体への派遣I(海外提携学会)

① KATE (The Korea Association of Teachers of English)

2023年7月6日から8日に Konkuk University, Korea で開催された 2023 KATE International Conference に、本学会より本学会役員1名が本学会代表として参加した。発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

② AILA (Association Internationale de Linguistique Appliquée) EBIC 派遣

2023年7月16日にオンラインで開催された AILA (国際応用言語学会) の EBIC business meeting に、本学会役員1名が本学会代表として参加した。

③ MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)

2023年8月26日から27日に Universiti Malaya, Malaysia で開催された 31st MELTA International Conference に、本学会役員1名が本学会代表として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

④ TEFLIN (The Association for the Teaching of English as Foreign Language in Indonesia)

2023年9月22日から24日に Syiah Kuala University, Indonesia で開催された The 69th TEFLIN International Conference、本学会役員1名が本学会代表として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑤ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

2023年10月13日から14日に The Suites Hotel Jeju & Lotte Hotel Jeju, Korea で開催された 2023 ALAK International Conference に、本学会役員1名が本学会代表として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑥ CELEA (China English Language Education Association) & AILA East Asia Forum

2023年10月13日から15日に Sichuan University, China で開催された The 10th International Conference on ELT in China に、本学会役員1名が本学会代表として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。また、AILA East Asia Forum にも派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑦ ETA-ROC (English Teachers' Association of Republic of China)

2023年11月11日から12日に Chien Tan Overseas Youth Activity Center, Taipei, Taiwan で開催された The 32nd International Symposium and Book Exhibit on English Language Teaching に、本学会役員1名が本学会代表として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑧ Thai TESOL (Thailand TESOL)

2024年1月26日から27日にThe Empress Hotel, Chiang Mai, Thailand で開催された The 43rd Thailand TESOL International Conference に本学会役員1名が本学会代表として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑨ RELC (Regional Language Centre)

2024年3月11日から13日にSEAMEO Regional Language Centre, Singapore で開催された RELC 58th International Conference に本学会役員1名が本学会代表者として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(2) 関係学術団体への派遣Ⅱ (国内提携学会)

① JALT (The Japan Association for Language Teaching)

2023年11月24日から27日に茨城県つくば市のつくば国際会議場で開催された 49th Annual Conference on Language Teaching and Learning & Education Materials Exhibition (全国語学教育学会第49回年次国際大会教材展示会)に、本学会役員1名が本学会代表者として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(3) 提携学会からの代表者受け入れ

① JACET 62nd International Convention (東京、2023)

2023年8月29日から31日に開催された第62回国際大会(東京、2023)において、提携学会代表者を招聘し、提携学会代表者による研究発表が行われた。関連学会との人的交流の促進を通じ、研究活動の国際化・高度化・活性化に貢献した。

(4) 提携学会の提携締結

TEFLIN (The Association for the Teaching of English as a Foreign Language in Indonesia) との

提携を2022年8月5日に締結した。人的交流を通じ、研究活動を活性化させることが目的である。

第5号事業報告：調査研究事業

(1) 専門分野別の研究会活動

41の研究会は、それぞれの分野での調査研究を基盤として、会員の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を行った。それにより、大学英語教育の発展に寄与し、会員相互の専門知識と技能の向上、会員の知見による学術の発展及び社会への還元を行った。また、各研究会の研究成果物を可能な限り公開できるように、そのための整理を行った。

(2) JAALin JACET (日本応用言語学会) JACET 教員と賛助会員との連携に向けた情報交換会

2023年5月12日にオンラインにて本学会会員と賛助会員による情報交換会を行った。議論された内容が各研究者の研究活動に大きな道標となると同時に、広く普及させることで、応用言語学研究を促進し、発展させることが期待される

(3) 産学連携事業成果出版特別委員会による成果報告

2023年度に活動を行った、産学連携事業成果出版特別委員会は、2023年8月30日に第62回国際大会の特別シンポジウムでは、「企業が求める英語コミュニケーション力」についての共同研究成果を報告し、議論を行った。また、『ビジネスコミュニケーションのための英語力研究成果報告書』を2024年3月15日にJACET ウェブサイトにアップした。また、産学連携事業成果出版特別委員会とIIBCとの共著で、『ビジネスコミュニケーションのための英語力～英語の壁を打ち破ったビジネスパーソンへの成長要因～』を朝日出版社より刊行した。序章と終章、付章を含む9章から構成、全287ページからなる。2024年3月22日に立命館東京キャンパスで出版記念報告会を実施した。

第6号事業報告：その他 法人事業

(1) 理事会の開催

2023年5月14日、6月18日(第2回・第3回)、8月28日、12月17日、2024年3月17日に理事会を開催した。6月18日は文京シビックホール、8月28日は明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモンで開催し、それ以外の日程はオンラインで開催した。この他、理事会メール審議を行った。

(2) 定時社員総会の開催

2023年6月18日に2023年度定時社員総会をオンラインで開催した。2022年度事業報告・収支決算・監事監査報告、2023年度会員異動、役員選任、承認ならびに監事監査報告、2023年度事業計画、収支予算、現行規定等の報告を行った。

(3) その他の委員会の開催

定例の各運営委員会、運営会議、支部委員会、支部役員会を適宜行った。

(4) 会員総会の開催

2023年8月30日に明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモンにて会員総会を行った。2023年度会員状況報告、2022年度活動報告、決算報告、2023年度活動計画、予算、人事、『学会運営規程』改正の件に関する報告を行った。会員にJACETの活動状況を周知することができた。

(5) 『JACET 通信』の刊行

- ① 2023年8月25日に『JACET 通信』217号(日本語、ウェブサイト版)
 - ② 2023年12月1日に『JACET 通信』218号(日本語、印刷版)
 - ③ 2024年3月23日に『JACET 通信』219号(英語、ウェブサイト版)
- 通信を3回刊行し、大学英語教育関連の情報発信

に寄与した。学会の最近の動向や優秀な大学英語教育を紹介することにより、会員の大学英語教員としての意識を向上させることができた。また、国内の他学会からの寄稿により、学際的な教育や研究の動向を知ることでもできた。②では第62回国際大会の報告を行った。

(6) 支部総会の開催

- ・北海道支部総会 2023年6月24日(藤女子大学)
- ・東北支部総会 2023年6月17日(TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口)
- ・関東支部総会 2023年7月8日、11月4日(ともにオンライン)
- ・中部支部総会 2023年6月10日、12月3日(ともにオンライン)
- ・関西支部総会 2023年11月18日(オンライン)
- ・中国・四国支部総会 2023年6月3日(安田女子大学)
- ・九州・沖縄支部総会 2023年10月14日(大分大学 旦野原キャンパス)

(7) 支部ニューズレターの発行

各支部でニューズレターを発行し、支部活動動向や、支部会員への英語教育に関する情報提供と情報交換を行った。

- ・『JACET 北海道支部ニューズレター』37号 2024年3月31日
- ・『JACET 東北支部通信』50号 2024年3月31日
- ・『JACET 関東支部ニューズレター』21, 22号 2023年9月30日、2024年3月31日
- ・『JACET Chubu Newsletter』50, 51号 2023年5月10日、2024年1月25日
- ・『JACET Kansai Newsletter』95, 96, 97号 2023年5月31日、9月15日、12月15日
- ・『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』

31, 32 号

2023年7月30日、2024年1月20日

・『九州・沖縄支部ニューズレター』39号

2023年4月10日

以上

2023 (令和5) 年度 収支計算書

収支計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	8,000	1,186	6,814
②入会金収入			
入会金収入	120,000	111,000	9,000
③会費収入			
一般会員会費収入	17,100,000	16,712,000	388,000
学生会員会費収入	400,000	300,000	100,000
維持会員会費収入	130,000	104,000	26,000
賛助会員会費収入	1,500,000	1,590,000	△ 90,000
団体会員会費収入	420,000	460,000	△ 40,000
会費収入計	19,550,000	19,166,000	384,000
④事業収入			
展示・広告収入	2,583,500	2,651,500	△ 68,000
参加費収入	8,098,500	5,651,000	2,447,500
書籍販売収入	1,035,000	804,888	230,112
雑収入	1,380,000	1,271,000	109,000
事業収入計	13,097,000	10,378,388	2,718,612
⑤寄付金収入			
寄付金収入	1,000,000	0	1,000,000
⑥雑収入			
受取利息収入	1,000	60	940
広告収入	515,000	0	515,000
雑収入	0	355	△ 355
雑収入計	516,000	415	515,585
事業活動収入計	34,291,000	29,656,989	4,634,011
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
印刷製本支出	3,663,200	3,064,576	598,624
給料手当支出	2,164,166	2,169,563	△ 5,397
臨時雇賃金支出	1,857,140	1,263,170	593,970
賞与支出	285,834	285,834	0
旅費交通費支出	3,182,100	2,974,302	207,798
通信運搬費支出	2,030,900	1,383,086	647,814
消耗什器備品費支出	1,781,150	1,461,332	319,818
会議費支出	3,385,350	2,098,886	1,286,464
保険料支出	50,000	50,420	△ 420
諸謝金支出	1,112,000	537,351	574,649
負担金支出	180,000	212,270	△ 32,270
図書研究費支出	915,000	627,008	287,992
事業費支出計	20,606,840	16,127,798	4,479,042
②管理費支出			
給料手当支出	2,483,520	2,717,844	△ 234,324
賞与支出	496,704	496,704	0
臨時雇賃金	10,000	0	10,000
法定福利費支出	500,000	518,942	△ 18,942
会議費支出	324,100	49,295	274,805
旅費交通費支出	1,338,320	853,556	484,764
通信運搬費支出	2,265,560	1,071,232	1,194,328
消耗什器備品費支出	900,800	455,599	445,201
修繕費支出	2,000	0	2,000
印刷製本費支出	339,600	83,156	256,444
支払手数料支出	993,155	1,036,750	△ 43,595
光熱水料費支出	140,000	148,316	△ 8,316
賃借料支出	2,212,100	2,366,540	△ 154,440
諸謝金支出	80,000	29,147	50,853
租税公課支出	15,000	0	15,000
負担金支出	60,000	60,000	0
図書研究費支出	5,000	0	5,000
雑支出	196,500	283,575	△ 87,075
管理費支出計	12,362,359	10,170,656	2,191,703
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	70,000	90,400	△ 20,400
事業活動支出計	33,039,199	26,388,854	6,650,345
事業活動収支差額	1,251,801	3,268,135	△ 2,016,334
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			

投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
①その他の支出			
退職積立金支出	108,000	0	108,000
投資活動支出計	108,000	0	108,000
投資活動収支差額	△ 108,000	0	△ 108,000
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	0	—	0
	0		
当期収支差額	1,143,801	3,268,135	△ 2,124,334
前期繰越収支差額	0	26,257,559	△ 26,257,559
次期繰越収支差額	1,143,801	29,525,694	△ 28,381,893

2023（令和5年）度 財産目録

財 産 目 録

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金			315,881
	普通預金			29,304,550
	定期預金			498,130
	未収金			78,600
	たな卸資産			110,820
流動資産合計				30,307,981
(固定資産)	基本財産			
	定期預金			20,000,000
	その他固定資産			
敷金			963,900	
固定資産合計				20,963,900
資産合計				51,271,881
(流動負債)	未払費用			439,982
	未払法人税等			90,400
	前受金			50,220
	預り金			90,865
流動負債合計				671,467
固定負債合計				0
負債合計				671,467
正味財産				50,600,414

監事監査報告書

監事監査報告書

一般社団法人 大学英語教育学会

会長(代表理事) 小田 眞幸 殿

私ども監事は、一般社団法人大学英語教育学会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの業務について監査を実施しました。その結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の概要

各監事は理事会に出席するほか、理事および法人の関係者から事業の執行状況について聴取し、業務について監査を実施しました。

また、当該事業年度に係る貸借対照表ならび正味財産増減計算書、およびその附属明細書について監査を実施しました。

2. 監査の結果

(1) 業務監査の結果

法人の業務について、法令、定款および規則等に従い、適正に運営されているものと認めます。

(2) 会計監査の結果

貸借対照表ならび正味財産増減計算書、およびその附属明細書は、法人の財産および損益の状況を正しく示しているものと認めます。

令和6年5月9日

一般社団法人 大学英語教育学会

監事

合井隆夫

監事

野口誠

支部だより

<九州・沖縄支部>

(1) 支部研究大会

①第33回支部研究大会

日時：2024年9月28日（土）9:10～17:40

場所：西南学院大学コミュニティセンター

大会テーマ：高等教育における外国語の教授と学習：

そのミッション、ビジョン、バリュー Foreign
Language Teaching and Learning in Higher Education:
Its Mission, Vision and Values

(2) 学術講演会

①2024年度春季学術講演会

日時：5月25日（土）15:30～17:00

場所：西南学院大学コミュニティセンター

テーマ：Manufacturing ‘Truth’ in ELT materials: How can
applied linguists deal with it? 小田眞幸（玉川大）

(3) 研究会

①第240回東アジア英語教育研究会

日時：2024年4月20日（土）15:00～17:00

場所：中村学園大学

研究発表

- 1) 「The Seven-Year Journey: Doing a Distance PhD」
Thomas Caton（中村学園大）
- 2) 「大学初年度の英語教材についての研究」清永克
己（至誠館大）
- 3) 「持続可能な観光のための CLIL 教材開発」金志
佳代子（兵庫県立大学）
- 4) 「大学生のための食育英語の教材開発: 専門教員
と語学教員の協業から」津田晶子（中村学園大）

②第241回東アジア英語教育研究会

日時：2024年7月20日（土）15:00～17:00

場所：中村学園大学

- 1) 「プログラム改善につなげる BEVI-j 利用の可能性」
佐々木有紀（中村学園大）、石松弘幸（佐賀大）
- 2) 「外国語教育における異文化理解能力を育成する
ための参照枠の重要性」 原隆幸（鹿児島大）

③第242回東アジア英語教育研究会

日時：2024年10月19日（土）15:00～18:00

場所：西南学院大学コミュニティセンター

- 1) 「異文化理解を深める英語ワークショップの効果
分析:学習者の変容を追う」 中西千春(国立音楽大)・
川井一枝（聖徳大）
- 2) 「タイタニック号の楽団は、最期に讃美歌を演奏
したのか。—史実と脚色の視点から、教科書の表記を
再考する—」 小笠原真司（長崎大）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2024年9月28日（土）

会場：西南学院大学コミュニティセンター

議題：

- 1)2023年度活動報告について
- 2)2024年度活動計画について

(2) 支部役員会

①2024年度第1回支部役員会

日時：2024年4月20日（土）

場所：オンライン会議

議題：第33回支部研究大会について

②2024年度第1回支部紀要編集委員会

日時：2024年6月8日（土）

場所：オンライン会議

議題：『JACET九州・沖縄支部紀要』第29号の編集に
ついて

③2024年度第2回支部役員会
日時：2024年5月25日(土)
場所：西南学院大学コミュニティセンター
議題：第33回支部研究大会について

④2022年度第2回支部紀要編集委員会
日時：2024年7月13日(土)
場所：オンライン会議
議題：『JACET九州・沖縄支部紀要』第29号の編集について

⑤2024年度第3回支部役員会
日時：2024年8月26日(土)
場所：オンライン会議
議題：第33回支部研究大会について

⑥2024年度第3回支部紀要編集委員会
日時：2024年8月31日(土)
場所：オンライン会議
議題：『JACET九州・沖縄支部紀要』第29号の編集について

⑦2024年度第4回支部役員会
日時：2024年9月19日(木)
場所：オンライン会議
議題：次期支部長の選出について

⑧2024年度第5回支部役員会
日時：2024年9月26日(土)
場所：オンライン会議
議題：第33回支部研究大会について

⑨2024年度第4回支部紀要編集委員会
日時：2024年11月9日(土)
場所：オンライン会議
議題：『JACET九州・沖縄支部紀要』第29号の編集に

ついて

⑩2024年度第6回支部役員会(予定)
日時：2024年11月23日(土)
場所：オンライン会議
議題：未定

⑪2024年度第7回支部役員会(予定)
日時：2025年2月15日(土)
場所：オンライン会議
議題：未定

⑫2024年度第8回支部役員会(予定)
日時：2025年3月8日(土)
場所：オンライン会議
議題：未定

3. その他

- 1) 『JACET九州・沖縄支部ニューズレター』の発行
2024年4月1日(月)
- 2) 『JACET九州・沖縄支部紀要』第29号の発行(予定)
発行日：2024年11月30日(土)

(伊藤健一・北九州市立大学)

<中国・四国支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 春季研究大会
日時：2024年6月8日(土) 13:10~16:35
場所：山口県立大学
研究発表：

- 1) 「話者指向副詞の使用と題材:小中高英語教科書の調査より」河原田有香(神戸松蔭女子学院大学大学院生)

2) 「高専3年生に対する体育CLILのパイロットスタディー—学生発案型授業を事例として—」 二五義博 (山口学芸大学) ・伊藤耕作 (宇部工業高等専門学校)

3) “Pre-Service Teachers’ Perspectives on Learning and Teaching English as a Second Language” Douglas Parkin (Yamaguchi Gakugei University)

4) “Effects of Language Learning Beliefs on English Language Learning: How Are They Related to Learners’ English Proficiency?” Takahiro Iwanaka (Yamaguchi Prefectural University)

(2) 秋季研究大会

日時：2024年10月19日(土) 12:50～17:00

場所：愛媛大学(城北キャンパス)

研究発表：

1) “Exploring the Relationship between English Haiku and Empathy” Ian Willey (Kagawa University)

2) “Learning Logs in and beyond the Classroom” Naomi Fujishima & Susan Meiki (Okayama University)

3) 「大学英語ライティングクラスにおける心理的安全性の変化:アクションリサーチ研究」 森谷浩士 (岡山大学)

4) “The Effects of Anxiety, Confidence, and International Posture on Willingness to Communicate” Eleanor Carson (Matsuyama University)

特別講演：

“Choosing to Learn Languages in the Technologically Advanced Era: Lessons from a Motivation Study of Two Japanese Learners” 高橋 千佳 (愛媛大学)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2024年6月8日(土) 12:50～13:10

場所：山口県立大学

報告事項：

1) 2023年度支部活動報告

2) 2024年度支部活動計画・予算案

(2) 支部役員会

1) 2024年度第1回支部役員会

日時：2024年6月8日(土) 10:30～12:00

場所：山口県立大学

報告：

① 2023年度支部事業報告

② 2025年度の国際大会について

③ 支部紀要について

議題：

① 2024年度支部事業計画・予算案

② 2024年度支部人事案

③ 2025年度事業計画

④ 支部紀要について

⑤ 研究企画委員の推薦依頼

⑥ 2026年度の国際大会実施場所について

2) 2024年度第2回支部役員会

日時：2024年10月19日(土) 11:00～12:00

場所：愛媛大学(城北キャンパス)

報告：

① 理事会報告

議題：

① 2024年度支部事業計画

② 2025年度支部事業計画・予算案

③ 2025年度支部人事案

④ 顧問および名誉会員の推薦について

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要』22号
発行日：2025年3月31日(予定)

(2) 支部ニューズレターの発行

『JACET 中国・四国支部 Newsletter』第33号
発行日：2024年7月30日刊行済み

『JACET 中国・四国支部 Newsletter』第34号
発行日：2025年1月20日（予定）

（森谷浩士・岡山大学）

志社大学）

③ 2024年度第3回支部講演会

日時：2025年2月22日（土） 15:30～16:50

場所：オンライン開催

講演会：ESP研究会・JACET 関西支部共催

講演は、津田晶子先生（中村学園）、金志佳代子先生
（兵庫県立大学）を予定。

<関西支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会などの開催

(1) 支部大会

日時：2025年3月1日（土）

場所：近畿大学東大阪キャンパス（対面開催）

大会テーマ：多様化する社会に応える英語教育：AI 時代の教育力とは？

基調講演 1（大会冒頭）

トム・ガリー先生（東京大学特任教授）

基調講演 2（大会最終）

野口ジュディー先生（神戸学院大学名誉教授）

(2) 支部例会

① 2024年度第1回支部講演会

日時：2024年6月15日（土） 15:30～17:00

場所：大阪公立大学 I-site なんば（対面開催）

講演：「グループワークの会話分析—学習者間インタラクションから生み出される授業活動の諸相」横森大輔（京都大学国際高等教育院）

② 2024年度第2回支部講演会

日時：2024年10月19日（土） 15:30～17:00

場所：オンライン開催

講演：文学教育研究会企画

1 「Teaching literature with graded readers: Possibilities and pitfalls」Rob Waring（ノートルダム清心女子大学）

2 「なぜ文学が英語教育に必要なのか？」玉井史絵（同

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2024年11月16日（土）（予定）

場所：オンライン開催

報告事項

- 1) 支部長報告
- 2) 研究企画委員会報告
- 3) 紀要編集委員会報告
- 4) その他

審議事項

- 1) 2025年度事業計画（案）
- 2) 2025年度予算（案）
- 3) 2025年度人事（案）
- 4) その他

(2) 支部役員会

① 2024年度第1回支部役員会

日時：2024年6月15日（土）

場所：大阪公立大学 I-site なんば（対面開催）

報告事項

- 1) 支部長報告（支部長：門田）
- 2) 2024年度事業計画について（総務幹事：三木）
- 3) 2023年度予算実績および2024年度予算について（財務幹事：田中）
- 4) 2024年度人事について（総務幹事：三木）
- 5) 研究企画委員会報告（研究企画副委員長：葛田）
- 6) 次期支部長選挙について（総務幹事：三木）

7) その他

審議事項

- 1) 支部講演会の日程変更について(総務幹事:三木)
- 2) 支部講演会、支部大会での非会員参加費用の徴収について(財務幹事:田中)
- 3) その他

② 2024年度第2回支部役員会

日時:2024年10月19日(土)

場所:オンライン開催

報告事項

- 1) 支部長報告(支部長:門田)
- 2) 研究企画委員会報告(研究企画委員長:山中)
- 3) 紀要編集委員会報告(紀要編集委員長:石川(圭))
- 4) その他

審議事項

- 1) 新年度の支部講演会の開催形態の変更について
- 2) 2025年度事業計画について(総務幹事:三木)
- 3) 2025年度予算について(財務幹事:田中)
- 4) 2025年度人事について(総務幹事:三木)

③ 2024年度第3回支部役員会

日時:2025年3月1日(土)(予定)

場所:近畿大学東大阪キャンパス(対面開催)

議題:2025年度の行事予定について(予定)

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『JACET 関西紀要』第27号

発行日:2025年3月31日(予定)

(2) 支部ニューズレターの発行

1) JACET Kansai Newsletter No. 98

発行日:2024年6月15日

2) JACET Kansai Newsletter No. 99

発行日:2024年9月15日

3) JACET Kansai Newsletter No. 100

発行日:2024年12月15日(予定)

(山下美朋・立命館大学)

<中部支部>

1. 英語教育セミナー(支部大会)、支部講演会、研究会等の開催

(1) 英語教育セミナー

日時:2024年6月1日(土)13:45~18:50

場所:愛知大学 名古屋校舎(オンライン同時配信)

テーマ:The Evolving Landscape of World Englishes and

ELF: Perspectives, Challenges, and Future Directions

シンポジウム・講演

講演1

“Research Trends in World Englishes, EIL, ELF and Global Englishes” James D'Angelo (Chukyo University)

講演2

“Multimodal analysis of ELF-LEGO corpus” Saya Ike (Meijo University)

講演3

“Bridging Theory and Practice: Implementing Global Englishes Perspectives in a Teacher Education Course”

Yasuhiro Fujiwara (Meijo University)

シンポジウム

講師: James D'Angelo (Chukyo University), Yasuhiro

Fujiwara (Meijo University), Saya Ike (Meijo University)

コーディネーター: Yoshihito Kamakura (Aichi

University)

(2) 支部研究会・講演会

① 2024年度第1回定例研究会

日時:2024年12月1日(日)

場所:愛知大学(オンライン同時配信)

研究会研究発表【多文化共生と英語教育研究会】ほか(予定)

② 2024年度 第2回定例研究会

日時：2025年3月1日（土）

場所：南山大学（オンライン同時配信）

研究会研究発表【ライティング研究会】ほか（予定）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

① 第1回支部総会

日時：2024年6月1日（土）

場所：愛知大学 名古屋校舎（オンライン同時配信）

議題：2023年度事業報告・会計報告、2024年度事業計画について、2024年度予算について、2024年度人事案について

② 第2回支部総会

日時：2024年12月1日（日）

場所：愛知大学 名古屋校舎（オンライン同時配信）

議題：人事案審議、予算案審議、事業案審議（予定）

(2) 支部役員会

① 第1回役員会

日時：2024年4月15日（月）20:00～21:00

場所：オンライン開催

議題：理事会報告、事務局報告（「第11回英語教育セミナー」、支部会計報告、第63回国際大会について、英語教育セミナーについて、次期支部長選挙について、中部支部紀要のJ-Stageの公開時期について、HPについて、ニューズレターについて

② 第2回役員会

日時：2024年5月20日（月）20:00～21:00

場所：オンライン開催

議題：理事会報告、事務局報告（ニューズレター、「第12回英語教育セミナー」、支部会計報告、第63回国際大会について、英語教育セミナーについて

て、支部総会について、ニューズレターオンライン化に伴う広告掲載料について

③ 第3回役員会

日時：2024年7月8日（月）20:00～21:00

場所：オンライン開催

議題：理事会報告、支部会計報告、HP（クラウドデータ利用規約）について、国際大会について、定例研究会・講演会について

④ 第4回役員会

日時：2024年10月7日（月）20:00～21:05

場所：オンライン開催

議題：理事会報告、事務局報告（社員選挙）、支部会計報告、支部長選挙について、研究企画委員について、顧問・名誉会員（国内）推薦について、定例研究会・講演会について、予算（J-Stage、紀要投稿料）について、HPについて（google driveの使用、デザインソフトCanvaの承認、Wordpressのアドオン）

⑤ 第5回役員会

日時：2024年11月11日（月）20:00（予定）

場所：オンライン開催

⑥ 第6回役員会

日時：2025年1月20日（月）20:00（予定）

場所：オンライン開催

⑦ 第7回役員会

日時：2025年2月17日（月）20:00（予定）

場所：オンライン開催

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『JACET 中部支部紀要』第22号

発行日：2024年12月25日（予定）

(2) 支部ニューズレターの発行

JACET-Chubu Newsletter No. 51

発行日：2024年1月25日

JACET-Chubu Newsletter No. 52

発行日：2024年12月25日（予定）

（下内充・中部学院大学）

<関東支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 2024年度支部大会

日時：2024年7月6日（土）9:30～16:25

場所：青山学院大学青山キャンパス

大会テーマ：English Language Teaching in Higher Education in the Era of AI

研究発表4件、実践報告1件、招待講演1件、基調講演1件、賛助会員LT4件、SIGシンポジウム1件

(2) 支部講演会

①第1回講演会

日時：2024年6月22日（土）16:00～17:20

場所：Zoomを用いたオンラインでの開催

講演者：栗原文子（中央大）・清田洋一（明星大）・中山夏恵（文教大）

題目：異文化間&グローバルシティズンシップを育む英語教育—イタリア訪問調査から—

(Teaching English for Intercultural and Global Citizenship: Some Implications from a Research Visit to Italy)

②第2回講演会

日時：2024年10月5日（土）16:00～17:20

場所：Zoomを用いたオンラインでの開催

講演者：鈴木彩子（玉川大）・Alessia Cogo（Editor-in-Chief of *ELT Journal*）

題目：異文化間シティズンシップのためのELFコミュニケーションの意識向上：日本とイギリスの事例研究 (Raising Awareness of ELF Communication for Intercultural Citizenship: Case Studies from Japan and the UK)

③第3回講演会（予定）

日時：2024年12月14日（土）

場所：Zoomを用いたオンラインでの開催

講演者：未定

題目：未定

(3) 講演会・ワークショップ（JACET 関東支部企画・JACET 教育問題研究会との共催）

日時：2024年11月16日（土）15:30～17:00

場所：中央大学茗荷谷キャンパス

講演者：クリスチアーネ・ルートゲ（ミュンヘン大学）

題目：Digital Global Citizenship and AI Literacy —Challenges and Perspectives for English Language Education— (デジタル・グローバル・シティズンシップとAIリテラシー —英語教育の課題と展望—)

※講演会等の詳細は、支部会員MLにて配信及び関東支部HP上に掲載されます。

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

①第1回支部総会

日時：2024年7月6日（土）12:30～12:50

場所：青山学院大学青山キャンパス

議題：2023年度事業報告・会計報告、2024年度事業計画等

②第2回支部総会

日時：2024年11月16日（土）15:00～15:15
場所：オンライン
議題：2025年度支部事業計画・予算、2025年度人事

(2) 支部役員会

①第1回支部運営会議

日時：2024年4月13日（土）14:30～15:30

場所：オンライン会議

議題：

- 1)第17回（2024年度）JACET 関東支部大会について
- 2)2024年度第1回関東支部講演会講演者候補について
- 3)理事会報告
- 4)支部委員会報告

②第2回支部運営会議

日時：2024年5月11日（土）14:30～15:30

場所：オンライン会議

議題：

- 1)第17回（2024年度）JACET 関東支部大会について（受付、参加申込、講演者動画配信等）
- 2)2024年度第1回関東支部講演会講演者候補について
- 3)理事会報告
- 4)支部委員会報告

③第3回支部運営会議

日時：2024年6月8日（土）14:30～15:30

場所：オンライン会議

議題：

- 1)第17回（2024年度）JACET 関東支部大会について
- 2)理事会報告
- 3)支部委員会報告

④第4回支部運営会議

日時：2024年9月14日（土）14:30～15:40

場所：オンライン会議

議題：

- 1)2025年度加入研究企画委員について
- 2)関東支部 ML への広報配信依頼について
- 3)11月に開催予定の支部企画について
- 4)2025年度支部活動に関するアンケートについて
- 5)次期関東支部支部長の選出について
- 6)2024年度支部大会アンケート結果について
- 7)理事会報告
- 8)支部委員会報告

⑤第5回支部運営会議

日時：2024年10月12日（土）14:30～15:30

場所：オンライン会議

議題：

- 1)次期関東支部支部長選挙について
- 2)2025年度 JACET 関東支部支部大会の開催について
- 3)関東支部へのアンケート結果について
- 4)関東支部 ML 経由の広報配信依頼について
- 5)理事会報告
- 6)支部委員会報告

⑥2024年度支部運営会議

第6回11月16日（土）14:00～14:50

⑦ 2024年度支部運営会議（予定）

第7回12月14日（土）14:30～15:30

第8回2025年1月11日（土）14:30～15:30

第9回2025年3月8日（土）14:30～15:30

3. その他

(1)支部紀要の発行

『JACET 関東支部紀要』第11号（英語名：JACET-KANTO Journal Vol.11）

発行日：2024年3月31日

『JACET 関東支部紀要』第12号（英語名：JACET-KANTO Journal Vol.12）（予定）

発行日：2025年3月31日

(2) 支部ニューズレターの発行

『JACET 関東支部ニューズレター』第22号

発行日：2024年3月31日

『JACET 関東支部ニューズレター』第23号

発行日：2024年9月30日

『JACET 関東支部ニューズレター』第24号（予定）

発行日：2025年3月31日

（田口悦男・大東文化大学）

<東北支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会

日時：2024年6月15日（土）10:00～12:30

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンター

ラウンドテーブルミーティング発表・意見交換「AIツールと英語教育」（English education and AI tool）

モデレーター 富田かおる（東京理科大（非常勤講師））

研究発表

1) “Critical Thinking and AI-Assisted English Essays”
Jennifer Green（宮城学院女子大）

2) “Potential challenges and risks for language development through Mobile Assisted Language Learning” Reik Jagno
（弘前大）

3) “Issues Concerning Materials Development and GenAI”
Joshua Lee Solomon（弘前大）

(2) 支部例会

日時：2024年11月16日（土）10:30～12:30

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンター

講演 「大学英語教育の36年間とその旅路」 會澤まりえ（尚絅学院大名誉教授）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2024年6月15日（土）9:30-9:50（役員会を兼ねて開催）

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンター

議題：

1) 2023年度事業報告、支部会計報告

2) 2024年度事業計画案について

3) 2024年度予算案について

4) 2024年度人事案について

5) 2024年度11月支部例会について

6) 各委員会活動報告

7) その他

(2) 支部役員会

①第1回役員会

日時：2023年4月13日（土）13:00～15:00

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンターとTKP 仙台西口ビジネスセンターとZoomのハイブリッド開催

議題：

1) 2024年度事業計画案について

2) 2024年度予算案について

3) 2024年度人事案について

4) 2024年度6月支部大会について

5) 2024年度11月支部例会について

6) 各委員会活動報告（新体制の確認と報告等）

7) 東北支部による国際大会開催の可能性について

8) その他

②第2回役員会

日時：2024年6月15日（土）9:30-9:50（支部総会を兼ねて開催）

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンター

議題：

- 1) 2023 年度事業報告、支部会計報告
- 2) 2024 年度事業計画案について
- 3) 2024 年度予算案について
- 4) 2024 年度人事案について
- 5) 2024 年度 11 月支部例会について
- 6) 各委員会活動報告
- 7) その他

③第 3 回役員会

日時：2024 年 10 月 26 日（土）～11 月 2 日（土）

場所：メール審議

議題：

- 1) 2025 年度事業計画案について
- 2) 2025 年度予算案と運営方針について
- 3) 2025 年度人事案等について
- 4) 2024 年度 11 月支部例会について
- 5) その他

④第 4 回役員会

日時：2024 年 11 月 16 日（土）9:00～10:20

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンター

議題：

- 1) 2025 年度事業計画案について
- 2) 2025 年度予算案について
- 3) 2025 年度人事案について
- 4) TOHOKU TEFL (『JACET 東北支部紀要』 Vol.13 および『東北支部通信 (JACET Tohoku Newsletter)』 No. 51 について)
- 5) その他

3. その他

- (1) 支部紀要の発行（予定）

TOHOKU TEFL (『JACET 東北支部紀要』 Vol.13

発行日：2025 年 3 月 31 日

- (2) 支部ニューズレターの発行（予定）

『JACET 東北支部通信 (JACET Tohoku Newsletter)』

No. 51

発行日：2025 年 3 月 31 日

(岡崎久美子・仙台高等専門学校)

<北海道支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

- (1) 支部大会

2024 年度支部大会

日時：2024 年 7 月 6 日（土） 13:00～16:40

場所：北星学園大学

基調講演：

「国語教育と英語教育をつなぐ：「連携」の歴史、方法、実践」 柎木貴之（北海学園大学）

シンポジウム：

「科目横断型英語授業実践」

コーディネーター：松本広幸

助言者：柎木貴之（北海学園大学）

シンポジスト：對馬光揮（札幌市立藻岩高等学校）・三上全（札幌市立開成中等教育学校）・沢谷佑輔（北星学園大学）

研究発表：

- 1) 「大学英語教員の授業不安に影響を与える要因について」 片岡恋准（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院）
- 2) “Preliminary Analysis of TOEIC IP scores (1999-2023)” Yuki Ueno (Hokkai-Gakuen University)

- (2) 支部例会

①2024 年度第 1 回研究会（予定）

日時：2024 年 11 月 9 日（土）13:00～14:50

場所：札幌大学

研究発表

- 1) 「リスニング授業におけるメタ認知指導の効果：自己調整能力のある学習者を狙って」中島優子(北海道武蔵女子短期大学)
- 2) “Utilizing Computer-Synthesized Speech in the Creation of Custom Listening Materials” Lucas Denton (Sapporo International University)
- 3) “Effect of Random Selection Tests on Vocabulary Learning in Japanese Learners” Kiwamu Kasahara (Hokkaido University of Education)

②2024 年度第 2 回研究会（北海道英語教育学会および日本コミュニケーション学会北海道支部との共催）
（予定）

日時：2025 年 3 月 日時未定

場所：未定

講演・研究発表：未定

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2024 年 7 月 6 日（土） 12:20～12:50

場所：北星学園大学

議題：

- 1) 支部長報告
- 2) 2023 年度 事業報告
- 3) 2024 年度事業計画
- 4) 2024 年度人事
- 5) 各種委員会報告
- 6) 2025 年度事業計画案
- 7) 2025 年度人事案
- 8) RBET の投稿規程・査読規程の一部見直しについて
- 9) その他

(2) 支部役員会

①2024 年度第 1 回役員会

日時：2024 年 6 月 1 日（土）：10:30～

場所：北星学園大学

議題：

- 1) 支部長報告・理事会報告
- 2) 事務局幹事報告
- 3) 会計幹事報告
- 4) 2024 年度役割分担について
- 5) RBET(J-Stage)について
- 6) 2024 年度支部大会について
- 7) 2024 年度支部総会について
- 8) 2024 年度支部研究会（第 1 回、第 2 回）について
- 9) 2024 年度第 2 回役員会の日時について
- 10) 2025 年度支部大会・研究会等（日程・会場）について
- 11) 2025 年度～2026 年度人事案について
- 12) RBET 投稿規程及び査読規程の見直しについて
- 13) その他

②2024 年度第 2 回役員会

日時：2024 年 7 月 6 日（土）10:30～

場所：北星学園大学

議題：

- 1) 支部長報告・理事会報告
- 2) 事務局幹事報告
- 3) 会計幹事報告
- 4) 2025-2026 年度支部役員人事の一部変更について
- 5) 2024 年度第 1 回支部研究会（案）について
- 6) 2024 年度第 3 回支部役員会について
- 7) 2025 年度支部大会（案）について
- 7) その他

③2024 年度第 3 回役員会（予定）

日時：2024 年 11 月 9 日（土）10:30～

場所：札幌大学

議題：未定

3. その他

(1) 支部紀要の発行（予定）

Research Bulletin of English Teaching, No. 21

発行日：2025年3月末（J-STAGE および支部ホームページを通じて公開）

(2) 2024年度支部ニュースレターの発行（予定）

『JACET 北海道支部ニュースレター』第38号

発行日：2025年3月末（支部ホームページで公開）

（四戸聡美・北海道大学）

編集後記

『JACET 通信』221号をお届けします。お忙しい中、ご寄稿いただきました先生方には心よりお礼申し上げます。

今年度から国際大会はブロック単位での開催となりました。今年度の国際大会は台風のため途中で中止という結果になってしまいましたが、私自身は久しぶりに仲間にも会え、貴重な時間を過ごすことができました。大会開催のためにご尽力いただいた先生方、本当にありがとうございます。この場を借りて、改めてお礼申し上げます。

第64回国際大会は東ブロックが担当し、東京で開催される予定です。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

（岩中）

編集：法人事業委員会（『JACET 通信』担当）

理事（筆頭） 下山幸成・東洋学園大学

理事・委員長 岩中貴裕・山口県立大学

理事 馬場千秋・帝京科学大学

理事 金丸敏幸・京都大学

理事 山口高領・秀明大学

副委員長 田口悦男・大東文化大学

副委員長 岡崎久美子・仙台高等専門学校

Gilner, Leah・愛知大学

伊藤健一・北九州市立大学

四戸聡美・北海道大学

下内充・中部学院大学

吉田諭史・近畿大学

森谷浩士・岡山大学

『JACET 通信』第221号

2024年12月1日発行

発行者 一般社団法人 大学英語教育学会（JACET）

代表者 小田 眞幸

発行所 〒162-0831 東京都新宿区横寺町55

電話(03)3268-9686 FAX(03)3268-9695

<https://www.jacnet.org/>